

平成28年度 清原南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し、日本の伝統や文化を大切にし、平和な国家の形成者として、21世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子どもを育成する。

たくましい子	元気に運動し、健康でたくましい心と体をつくる。
思いやりのある子	ルールやマナーを守り、協力して生活する。
よく学ぶ子	基礎・基本を身に付け、進んで学習する。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

恵まれた自然環境と、約140年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち、子どもへの愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々と共に歩み、自らの資質を高め、教育目標達成のために全力を尽くす。

また、先人に感謝しつつ、母校への誇りと自分の尊厳を高めるような教育活動を展開し、子どもたちに「未来を拓く人間力」を身に付けるため、児童・教職員・保護者・地域が連携し「地域に開かれた信頼される学校づくり」を推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- 1 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進
- 2 清原地域学校園構想に基づいた小中一貫教育の充実
- 3 高い指導力と情熱をもった教職員の人材育成
- 4 基礎学力の充実
- 5 言語力や読解力の育成
- 6 教育的ニーズのある児童への指導体制の整備
- 7 社会性の醸成
- 8 健康や体力の増強・食育の推進
- 9 家庭や地域との連携の強化

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～キャリア教育を核として～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】・清原地区地域学校園構想としての取組を充実させ、子どもたちの「生きる力」を育み、職員間の連携を深める。

【学習指導】○基礎的・基本的な学習内容の定着化を図り、更に学び合いを通して自ら学び考える児童の育成を図る。

【道徳教育（児童生徒指導）】○あいさつ運動を始め、児童間のコミュニケーション能力を高める活動を通して、自分で判断し行動する児童の育成に努める。

【健康（保健安全・食育）・体力】○楽しく体力づくりができる環境や健康について学ぶ機会を充実させ、自らの健康や体力づくりに積極的に取り組む子の育成に努める。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は今の学校が好きです。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>教職員は子どもの悩みを把握し、効果的に教育相談を実施したり、活気ある活動を充実したりする。</p> <p>1 教育相談の充実及びQ-Uテストの活用により、児童同士の人間関係づくりに努力する。</p> <p>2 学校行事や児童会活動・委員会活動を工夫し、学校生活に潤いを与える。</p>	B	<p>【達成状況】児童肯定的回答 94.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、QUの結果を受け、円滑な児童の人間関係を構築するために職員研修を実施し、教育相談に生かした。 ・2では、児童主体の行事や特別活動の在り方を工夫し、学校生活に潤いがもてた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、教育相談などを継続して行い、よりよい人間関係の構築に努める。 ・2では、引き続き、あいさつ運動や縦割り班など、児童主体の活動を推進する。
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、大切なことを熱心に指導してくれる」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>教職員は児童が自己充実感をもって学校生活が送れるよう教育活動を工夫する。</p> <p>1 学習内容定着度調査の結果をもとに、本時のねらいを児童に分かるように提示し、個に応じた指導と学び合いのある分かる授業を目指す。</p> <p>2 積極的・組織的な児童指導を充実し、規範意識を高める。</p>	B	<p>【達成状況】児童肯定的回答 99.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、本時の「ねらい」や「振り返り」を提示し、授業の見通しが分かる授業を展開することができた。 ・2では、学習や生活での基本的な決まりが身に付くよう、普段から積極的な児童指導に重点を置き、規範意識が高められた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、学習内容やねらいを学年内で互いに確認したり、板書計画や学習形態を工夫したりしていく。 ・2では、教育活動全般における規範意識を高め、一貫した指導が行えるよう共通理解を図っていく。
	<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>児童情報交換会を活用して全職員が共通の認識をもちながら、さまざまな場で子どもにかかわり、それを児童情報交換会で報告する。</p> <p>1 <u>「清原地域学校園の方針・約束・一日」を積極的に活用する。</u></p> <p>2 下校集合時にきまりやマナー、安全面について話をする。</p>	B	<p>【達成状況】児童肯定的回答 86.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、「清原っ子の約束」を、各教室に掲示し、年度始めに児童に周知すると共に、日常的な指導に役立てた。 ・2では、学年下校や集団下校の際に、全職員で天候や安全面の状況に応じた全体指導を行った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、次年度は「清原っ子の約束」を全児童に配付し、家庭にも周知を図っていく。 ・2では、全体指導を継続して行くと共に地区担当者が個別に指導する時間を設ける。
	<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>机間指導を行い、一人一人の学習状況を見取り支援するとともに、友達同士学び合う場を設定した授業を行う。</p> <p>1 習熟度別学習等、個に応じた場面と学び合いの場面を設定する。</p> <p>2 児童の振り返りの場を設定し授業改善に役立てる。</p>	B	<p>【達成状況】児童肯定的回答 97.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、習熟度別学習など個に応じた学びの場を多く設定する中で、プレテストや宮っ子ステップアップシートを活用し、個別に支援できた。 ・2では、振り返りカードを活用して学習意欲や理解度を把握し、次時の学習への手立ての一助とした。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2では、今後も習熟度別学習、少人数指導、T・T、VTの活用など、児童の発達段階に応じた細やかな指導に努める。

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>いじめの未然防止、早期発見及び早期解消のため、児童理解に努め、信頼関係を築く。</p> <p>1 年2回の「いじめゼロ強調月間」では、関連する道徳の授業を実施する。</p> <p>2 日頃より児童の様子を観察するとともに、学級活動及び日常生活の中でいじめは許されない行為であることを継続的に指導する。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 99.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、「いじめゼロ強調月間」を年2回実施し、命の大切さやいじめに関する道徳の授業を各クラスで実施した。 ・2では、言葉遣いに関する学級活動を各クラスで実施するとともに、いじめアンケートやハートタイムを実施し、いじめの早期発見に努めた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2では、いじめアンケートやいじめゼロ強調月間等を引き続き実施し、児童会によるいじめ根絶集会やいじめに関する道徳の授業等を継続して行い、いじめは許されない行為であるという意識を高めていくとともに、いじめに繋がる場面で立ち向かえる心を育てていきたい。
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事等は適切に実施されている。」 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>時数管理を適切に行い授業にじっくりと取り組める環境を生み出す。</p> <p>1 授業時数を確保し予備時数を有効的に活用する。</p> <p>2 土曜授業の趣旨を踏まえ、教育活動の充実にも努める。</p>	<p>【達成状況】保護者肯定的回答 97.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、創意工夫により授業時数が確保できた。予備時数も学習の振り返りや定着に活用した。 ・2では、地域や保護者との連携を図り、児童会活動や引き渡し訓練等、充実した教育活動を行った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、適切な時数の確保と日課の工夫によって、より充実した教育ができるようにする。 ・2では、土曜授業の趣旨や本校の特色を踏まえ、計画的に年2回土曜授業を実施する。
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>学校だよりや各種通信、ホームページを通して定期的に情報を発信する。</p> <p>1 学校公開を積極的に行う。 授業参観 学校公開日 土曜授業 運動会 清南持久走大会 音楽集会・委員会活動発表 清南まつり 他</p>	<p>【達成状況】保護者肯定的回答 98.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、定期的に学校公開日や主な学校行事等を保護者や地域住民に知らせるなど、情報発信を積極的に行った。また、地域協議会の方にも授業参観や会食、清南まつり等の行事に参加してもらい、学校の様子を伝えられた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、各種だよりやホームページの内容をさらに充実させる。また、学習だよりや児童指導だよりも定期的に発行するとともに学年だよりの「清南スマイル」コーナーを充実させていく。
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>学習ボランティアや企業と積極的に連携を図った教育活動を行う。</p> <p>1 学習ボランティアを計画的に導入し、授業への参画を図る。</p> <p>2 <u>地域協議会や清原地域学校園と連携を図り、外部人材の活用を推進する。</u></p>	<p>【達成状況】保護者肯定的回答 94.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、計画的に家庭、地域、企業等と連携を図り、教育活動の充実にも努められた。 ・2では、コーディネーターを介して家庭科のミシンや水泳指導時の見守り等に活用が図られた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、活用する団体や人材の精選を図り、授業への参画を推進していく。 ・2では、学校支援ボランティア年間活用計画の更なる充実を図る。また、新たな人材の発掘も進めていく。

	<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は清掃がしっかり行われ、学習しやすい。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>環境の美化に努める。</p> <p>1 日々の清掃活動について振り返るとともに、学級活動の中で清掃の仕方や心構えを身に付ける。</p> <p>2 ボランティアティーチャーと連携し、季節に応じた潤いある環境を整備する。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 90.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、清掃活動中に清掃の仕方や心構えについて理解させたことで、児童の意識が高まった。 2では、掲示係や掲示委員会を中心に、掲示計画を立て、ボランティアティーチャーに協力して頂きながら、環境を整備することができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、今後も発達段階に応じた清掃の指導を、学級活動の中に位置づける。 2では、掲示係を中心に掲示計画を立て、潤いのある環境づくりに努める。
	<p>B1 教師の授業力を高めるため、互いに授業を公開し、教師としての資質・能力の向上に努める。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「校内研修を通して学び合い、自らの指導に生かすことができた。」 教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>全職員が授業を公開し、授業研究を行う。</p> <p>1 考えを深め合える授業研究会を目指した校内研修を行う。</p> <p>2 話し合いの場を通して、同僚性を高める。</p> <p>3 地域の学校と連携を図り、研修を一層活性化する。</p>	<p>【達成状況】教職員肯定的回答 88.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、一人一授業や見せ合う授業を計画し、実施することができた。 2では、市教委指導主事等の指導の下、授業研究会の中で活発な意見交換を行い、互いに学ぶ機会を充実させることができた。 3では、中学校の授業を参観することで、教科の系統性を確認し、日々の指導に生かすことができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1, 2では、一人一授業や研究会等を今後も継続し、学年、ブロック等での教材研究を充実させ、各教員の授業力向上を図る。 3では、学校園での連携を継続して行う。
<p>教育活動の状況</p>	<p>A10 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じたあいさつをしている。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>元気にあいさつし、場に応じた言葉遣いを指導する。</p> <p>1 年に2回、児童会主催のあいさつ運動を実施し、家庭や地域と運動推進の呼びかけを行い、意識を高める。</p> <p>2 あいさつの習慣化を図るためPTAと児童会が協力し、標語を募集し作品の表彰や掲示を行う。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 92.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、児童の意識を高めるために、あいさつ運動を年に2回実施するとともにあいさつ名人の表彰を年3回実施した。 2では、本年度においては、あいさつ標語は実施できなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、あいさつ運動のやり方を再検討し、より児童の意識を高めながら、教職員のあいさつに対する意識も高めていきたい。 2では、あいさつ標語は児童会主催で募集するなど、やり方を検討し、あいさつの習慣化をさらに図っていきたい。
<p>生 活</p>	<p>A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた正しい言葉づかいをしている。」 児童・教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>学校や地域が一体となって場に応じた言葉遣いを指導する。</p> <p>1 VTを活用した授業を取り入れ、場所や相手に応じて正しい言葉遣いができるよう啓発していく。</p> <p>2 時と場に応じた話し方について全職員が共通理解を図り、正しい言葉遣いを指導する。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 84.7% 教職員肯定的回答 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、VTを積極的に活用し、地域の人と関わる機会をもたせ、適切な言葉遣いができるよう取り組んだ。 2では、言葉遣いについて、学校生活全体を通して、随時指導に努めた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1では、地域の方々と関わる機会を今後もより多く設けていく。 2では、異学年交流の機会を取り入れることを大切にする中で、他の教室に入るとき挨拶の仕方や縦割り清掃の際などの言葉遣いを意識して使えるよう指導していく。また、各学級では授業を通して、話し方などを学んでいけるようにする。

健康・体力	<p>B2 全職員が子どもの人権を尊重し、法令を遵守しながら職務を遂行する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は子どもの人権を尊重し、法令を遵守しながら職務を遂行している。」 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>すべての教育において子どもの人権を尊重した活動を行う。</p> <p>1 教師自らが言語環境を整える。 2 人権週間に環境を工夫したり、人権に関する授業を実践したりして、人権意識を高める。</p>	<p>【達成状況】保護者肯定的回答 85.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、教師の言葉遣いや行動が児童に影響を与えることを一人一人が自覚した上で、児童の模範となるような行動をするよう心掛けた。 ・2では、12月の人権週間に全学級でDVDを視聴し、人権意識を高める材料とした。さらに、人権教育に焦点を当てた授業を実施した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、次年度も児童の手本となる言葉遣いを心掛けていく。特に児童の呼称や指導の際には、十分に言葉遣いに配慮していく。 ・2では、人権週間に限らず日常の児童への指導を通して、教師自身の普段の指導を振り返り、さらに人権意識を高めていく。
	<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>進んで運動ができるよう目標や行事を設定する。</p> <p>1 持久走大会や鉄棒・水泳・縄跳び検定等で自ら目標をもって練習を重ねることができるよう教師のサポート体制を構築する。 2 「うつのみや元気っ子プロジェクト」のミニマム達成をねらって、運動量の多い体育の授業を実践していく。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 91.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、個人の目標を設定するため、各種検定カードや、ワークシートの活用を工夫したことで、運動への意欲を高めることができた。 ・2では、運動量を高めるための指導法の工夫を図り、発達段階に応じた運動に親しむことができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、体育の授業だけでなく、ドッジボール大会やながなわチャレンジを実施し、運動に親しめるようにしていく。 ・2では、体育の実技研修を行い、児童の指導に生かすよう努める。
	<p>A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は好き嫌いなく給食を食べている。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>コミュニケーションを通じた食の大切さを啓発する。</p> <p>1 各種たよりやお弁当の日などを通して、栄養や食材について話し合う機会を設ける。 2 懇談会、各種会合等を通し、食や生活習慣へのかかわり方の大切さを啓発したり、栄養士と連携を図った授業を工夫したりする。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 82.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、食育だよりを発行したり、家庭でお弁当の準備をしたりして、食に対する関心が高まった。 ・2では、家庭科および学級活動の授業において栄養士と連携を図った授業を実施することができた。また、ふれあい給食を積極的に取り入れた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、各種たよりや食に関するアンケートを通して、児童の給食の現状を知らせるとともに、食育の大切さを啓発する。 ・2では、引き続き栄養士と連携した授業を行ったり、学校保健給食委員会の推進を図ったりすることで、学校・家庭・地域との連携を深めていく。

	<p>B3 児童は、自分の体を大切にし、健康に気を付けて生活しようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「遊びや下校後うがい、手洗いをしたり、けがをしないよう気を付けたりしている。」児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>自分の体は自分で守ることの大切さを指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休み時間や下校後の手洗い、うがいや衣服の調整等を指導する。 2 養護教諭と連携し、保健の授業や学級指導の授業を充実させたり、保護者等への啓発を図ったりする。 3 遊びの中で、道具や施設の使い方をきまりを指導する。 	<p>【達成状況】児童肯定的回答 94.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、手洗いやうがいについては、生活目標や養護教諭、保健委員会での呼びかけを実施した。 ・ 2では、歯の健康教室や薬物乱用防止教室を行うことで、養護教諭と連携し、授業の充実が図られた。また、保護者へは、保健だより等で啓発を図ることができた。 ・ 3では、教職員が共通理解を図り、遊びの種類別にエリアを分けることで、けがの防止につながった。 <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、今後も保健だよりや生活目標を活用し、手あらいやうがいの励行を継続して指導していく。 ・ 2では、発達段階に応じた授業を実施するとともに、学校保健給食委員会等で保護者への啓発を図る。 ・ 3では、各学級で学校の決まりを確認し、けがのない生活を送ることができるよう指導していく。
学	<p>A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで話し合うなど、積極的に学習している。」児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>意欲的に取り組むような発問の工夫、教材の開発、学習形態等について、教職員同士で考えを提案し、実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた作業プリントや教材等を工夫し、意欲的に授業に取り組むことができるようにする。 2 学習形態を工夫し、互いの考えを認め、学び合いができるように努める。 	<p>【達成状況】児童肯定的回答 93.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、習熟度別学習において子どもの実態に応じた課題を提示したり、作業プリントを作成したりして意欲的に取り組めるよう工夫することができた。 ・ 2では、ペア学習やグループ学習、ホワイトボードの活用を取り入れ、またお互いの考えを共有しながら学習活動に取り組み、進んで学び合いができた。 <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、児童の実態をよく把握し、意欲的に取り組めるような課題や作業プリントの開発を行う。 ・ 2では、自信をもって自分の考えを伝えられるような機会を意図的に設け、学びを深めていく。
習	<p>A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に先生や友だちの話をよく聞くなど落ち着いて学習している。」児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>基本的な学習態度について、全職員が共通理解を図り、実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 話の聞き方・発表の仕方やノートを使い方について、指導の徹底を図る。 2 授業開始時刻を守り、学習の準備を行う等落ち着いて学習に取り組める態勢を整える。 	<p>【達成状況】児童肯定的回答 88.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、教室にある「聞き方の掲示物」を新しくし、会話科での聞き方の学習を生かしながら指導に当たった。 ・ 2では、教師の声掛けや見通しをもった単元計画、ユニバーサルデザインの授業展開等により、児童が落ち着いて学習に取り組むことができた。 <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2では、配慮が必要な児童に対する指導の研修を充実させ、機動的な校内態勢を整える。

	<p>B4 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート「宿題や自主学習をすることが習慣化されている。」 児童・保護者回答 80%以上</p>	<p>「清原っ子家庭学習の約束」により家庭学習の習慣化を家庭と連携しながら推進する。</p> <p>1 授業参観や懇談、学習だよりなどを通じて、機会あるごとに保護者へ状況を知らせる。</p> <p>2 家庭学習に対して適切なコメントをする等、児童の意欲を高めるようにする。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 87.3% 保護者肯定的回答 76.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、家庭学習の大切さについて学力調査の結果と関連付けながら、啓発を図った。 ・ 2では、教師の呼びかけや励ましのコメント、家庭の協力により、ほとんどの児童が毎日欠かさず宿題に取り組むことができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、好ましい家庭学習のあり方について具体的な例を挙げて、保護者への啓発を図る。 ・ 2では、次年度でも継続して取り組み、より家庭学習の習慣を定着させていく。
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 本や地域、友達とのふれあいを通して人間関係を深め、心の豊かな児童を育成する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「読み聞かせなど地域の方とふれあうことは楽しい。」 児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 本とのふれあい：朝の読書活動を充実するとともに、調べ学習を充実したものにす。</p> <p>2 地域とのふれあい：<u>あいさつ運動</u>や地域ボランティア、<u>体験農園活動等</u>を通して人間関係を深める。</p> <p>3 人とのふれあい：縦割り班活動や学校行事等を通し、リーダーシップ、思いやり、協調性などを育てる。</p> <p>4 学習ボランティアの充実により、教育活動を豊かにする。</p>	<p>【達成状況】児童肯定的回答 94.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、読書の時間を確保するとともに読み聞かせボランティアや司書のブックトーク、読書まつり等充実した活動が行えた。また、調べ学習がしやすいようにコーナーを設けた。 ・ 2では、地域の方々と共に活動する機会を年間計画に位置付け、多くの方とふれあう活動に取り組んだ。 ・ 3では、縦割り活動や学校行事等で異学年との交流を積極的に行えた。 ・ 4では、地域人材を有効に活用し、できた喜びを味わわせることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1では、地域から寄贈を受けた本を有効に活用し、学年に応じて本とふれあう機会をさらに増やしていく。 ・ 2では、お世話になった方々への感謝の気持ちを表す感謝の会を開いたり、お礼のお手紙を渡したりする中で、さらに結びつきを深めていく。 ・ 3では、縦割り班活動や学校行事の内容をさらに充実し、思いやりの気持ちを育てていく。 ・ 4では、学習ボランティアに新しい人材を加えるなどして更なる活用を推進していく。

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】○清原地区地域学校園構想としての取組を充実させ、児童の「生きる力」を育み、職員間の連携を深める。

- ・「教職員は協力し、児童の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」の評価項目では、教職員が一人一人の児童に対して、丁寧で分かりやすい指導を心がけることにより効果を上げることができ、十分に達成できた。
 - ・「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報発信・提供している」の評価項目では、これまでの取組が効果を上げ達成できているが、さらに、ホームページを含め各種たよりの一層の充実を図る必要がある。
- 小中一貫の取組として、中学生が作成したしおりを利用し、読書まつりで活用することができた。

【学習指導】○基礎的・基本的な学習内容の定着化を図り、更に学び合いを通して自ら学び考える児童の育成を図る。

- 「児童は落ち着いて学習に取り組んでいる」の評価項目では、これまでの取組により達成はできているが、さらに配慮が必要な児童に対する指導の研修を充実していく。
- ・「児童は進んで学習に取り組んでいる」の評価項目では、学習形態の工夫等の取組により達成はできているが、さらに活発な意見交換ができるような授業の工夫に取り組んでいく。
- 「児童は家庭学習の習慣を身に付けている」の評価項目では、学年だよりでのお知らせや教師による励ましのコメント・家庭の協力等の取組により効果はあがったが、今後も継続して家庭学習の習慣化を図っていく。

【児童生徒指導】○あいさつ運動をはじめ、児童間のコミュニケーション能力を高める活動を通して、自分で判断し行動する児童の育成に努める。

- ・「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている」の評価項目では、児童指導情報交換会の活用が効果を上げ達成できているが、さらに、下校時の全体指導を継続して行うと共に、地区担当が個別に指導をする時間を設け、登下校中もきまりやマナーを守るように指導していく。
- ・「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」の評価項目では、子ども一人一人と向き合って話し合う年2回の「ハートタイム」や、「いじめゼロ強調月間」時のいじめや命の大切さに関する道徳の授業、言葉遣いに関する学級活動等の取組が効果を上げ、十分に達成できた。
- 「児童は進んであいさつをしている」の評価項目は、児童会が主体的に取り組んだあいさつ運動や中学生の訪問あいさつ運動、あいさつ名人の表彰等の取組により十分成果を上げているが、さらに、児童会主催であいさつ標語を募集する等、あいさつの習慣化を図る取組を工夫していく。

【健康・体力】○楽しく体力づくりができる環境や健康について、学ぶ機会を充実させ、自らの健康や体力づくりに積極的に取り組む児童の育成に努める。

- 「児童は進んで運動する習慣を身に付けている」の評価項目では、個人の目標を設定するための検定カードやワークシート等の活用の取組により、運動への意欲を高めることができ、十分に達成できた。
- ・休み時間や放課後の運動に関する評価項目では、昨年度よりも効果が上がっていることから、引き続き指導の継続を図る。
- ・「児童は栄養のバランスを考えて食事をしている」の評価項目では、お弁当の日の実施により食に対する関心が高まり成果が上がっている。さらに食育だより等で児童の給食の実態を知らせるとともに、食の大切さについても保護者への啓発を図っていく。

6 学校関係者評価

- ・子どもの自殺といじめとの関連がメディアで取り上げられることがあるが、いじめ対策における学校の取組をもっと保護者や地域に発信し、見えるように工夫することが必要である。
- ・いじめに対して、保護者が過敏になり過ぎているかもしれない。(些細なことでも親が介入する傾向が見られる。本来子ども同士で解決できるように育てていくことが大切である。)
- ・子どもがふざけているだけでいじめと誤解される場合がある。
- ・学校だけでなく、家庭でもいじめに関して指導すべきことを明確にして、子どもにかかわることが重要である。
- ・夏休み中の電話教育相談日の設定は、保護者がいつでも相談できる態勢が整っていて、継続してほしい。
- ・懇談会の充実を図り、よりよいコミュニケーションをとることが、保護者との連携を深めることにつながる。
- ・日常生活の延長が、子どもの人格形成に大きな影響を与えている。(基本は父母とのつながりである。)
- ・家庭では苦手な食材でも、学校給食では友達と会食するので、好き嫌いなく食べている様子が見られる。食事をする雰囲気作りが大切である。
- ・子どもにとって、宿題はやらなければならないものという意識をもっている。そこから学習の習慣化を図り、さらに高学年では中学校を意識して、自主学習のやり方や内容等を理解し、興味を高めていくことが重要である。
- ・学力には個人差があるので、基礎基本の定着だけではなく、楽しめる学習の工夫や個に応じた支援が大切である。
- ・学校全体に落ち着きがあり、子どもたちが明るく元気で、しっかりと挨拶ができることが清南小のよさである。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学校運営に関する取組では、学校だよりや学校公開などを通して、地域に開かれた学校づくりに努めることができた。特に、授業参観をはじめとして音楽集会や持久走大会、PTA主催の140周年記念式典、清南まつり等で多くの方の参加を得られた。また、保護者や地域の方は学校を信頼し、ともに歩んで行くという意識が高く、本校の教育活動にボランティアとして積極的な支援を得ることができた。今後も、保護者や地域の方に進んで情報を発信したり、ボランティア等の協力をお願いしたりして、信頼される学校づくりを推進していきたい。
- 学習指導に関する取組では、学力の向上を目指して教職員が一丸となり、学習形態の工夫や言語活動の充実（書く活動やグループ活動等）に取り組むことができた。一方、学力には個人差があるので、楽しめる学習の工夫や個に応じた学習支援の在り方が大切である。家庭学習については、児童は宿題や自主学習をすることが身に付いてきているので、さらに家庭と連携を図りながら、意欲的に取り組める家庭学習の内容や方法を広め推進していきたい。
- 児童指導に関する取組では、いじめ対策についてのアンケートで児童と保護者の肯定的回答の割合にかなり差が見られた。保護者にとっては、学校のいじめ対策への取組が見えにくいという認識があるので、学校や児童会での取組（いじめゼロ集会・児童指導だより等）を積極的に発信していくようにする。一方、学校全体に落ち着きがあり、子どもたちは明るく元気に過ごしており、時と場に応じた挨拶も身に付いてきている。これからも地域の教育力を生かしながら、保護者とのよりよいコミュニケーションを図り、児童指導の推進に努めていく。
- 健康や体力に関する取組では、運動への意欲を高めるために、検定カードやワークシートの活用を工夫し、運動に親しむ環境を整えることができた。そして、体育の授業だけではなく、休み時間や放課後等も積極的に体を動かす機会を増やしていくことができるよう、子どもの意識を高めていくことが大切である。偏食については、学校給食を通して好き嫌いなく食べる態度を育成し食育の推進を図るとともに、学校と家庭が連携し、食と健康の関連を十分に指導していくことが重要である。